

令和3年大阪市消防活動概況（速報）

大阪市消防局では、令和3年中の大阪市内での火災、救急、救助等の活動の概況を取りまとめました。なお、数値はすべて令和4年1月7日時点の速報値です。

◆火災件数は昨年と比べて 108 件減少

火災件数は 596 件と、前年(704 件)と比較すると 108 件減少(-15.3%)し、10 年前の平成 24 年の火災件数(1,012 件)から比べると 41.0%減少しています。

◆火災原因トップ3 は、1 位「たばこ」、2 位「放火」、3 位「電気配線類」

火災原因のトップ3は、昨年同様、1 位「たばこ」、2 位「放火(疑い含む)」、3 位「電気配線類」の順となりました。(※調査継続中のもの含む)

また、4位の「電気製品」による火災は 61 件で、前年と比較すると 12 件増加しました。

◆救急出場件数及び搬送人員は、ほぼ横ばい

救急出場件数は 218,048 件で、前年と比較すると 618 件増加(0.3%)し、搬送人員は 174,615 人で、2,018 人減少(-1.1%)しました。

令和3年 消防活動概況表

	令和3年	令和2年	増減数	増減率(%)
火災件数(件)	596	704	-108	-15.3%
焼損床面積(m ²)	42,793	9,358	33,435	357.3%
損害額(千円)	3,113,920	931,724	2,182,196	234.2%
火災による死者(放火自殺者を除く)(人)	39	31	8	25.8%
放火自殺者(人)	3	1	2	200.0%
負傷者(人)	141	149	-8	-5.4%
救急出場件数(件)	218,048	217,430	618	0.3%
搬送人員(人)	174,615	176,633	-2,018	-1.1%
救助出場件数(件)	3,740	3,539	201	5.7%
火災・救急・救助以外の出場件数(件)	7,839	7,019	820	11.7%

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

1 火災概況

(1) 火災件数【表1参照】

- ・火災件数は596件と、前年(704件)と比較すると108件減少(-15.3%)し、10年前の平成24年の火災件数(1,012件)から比べると41.0%減少しています。
- ・火災種別では、建物火災が468件で、前年に比べ75件の減少(-13.8%)となりました。
- ・火災による死者(放火自殺者を除く)は39人で、前年と比較すると8人増加(25.8%)、負傷者は141人で、8人減少(-5.4%)しました。
- ・「火災0(ゼロの日)」は84日ありました。(前年比26日増)

(表1)火災概況

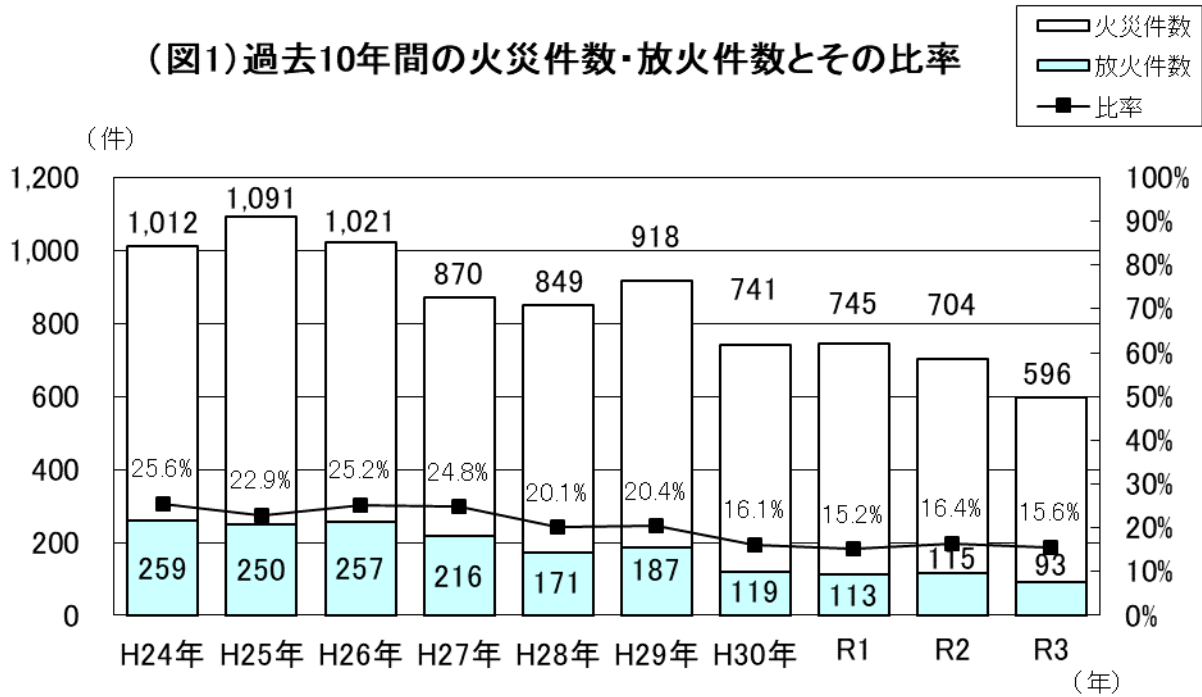
区	分	単位	令和3年(A)	令和2年(B)	比較(A-B)	増減率%	
火	災	件	596	704	-108	-15.3%	
火災種別	建物	件	468	543	-75	-13.8%	
	車両		39	45	-6	-13.3%	
	船舶		2	1	1	100.0%	
	航空機		0	0	0	-	
	爆発		3	0	3	-	
	その他		84	115	-31	-27.0%	
建物火災焼損程度	全焼	件	21	25	-4	-16.0%	
	半焼		16	18	-2	-11.1%	
	部分焼		120	134	-14	-10.4%	
	ぼや		311	366	-55	-15.0%	
床面積焼損	面積	㎡	42,793	9,358	33,435	357.3%	
	建物火災1件あたり		91.4	17.2	74.2	431.6%	
焼損表面積		㎡	8,042	4,320	3,722	86.2%	
損害額	損害額	千円	3,113,920	931,724	2,182,196	234.2%	
	火災1件当たり		5,224.7	1,323	3,901.2	294.8%	
死傷者	死者	人	放火自殺者を除く	39	31	8	25.8%
			放火自殺者	3	1	2	200.0%
	負傷者		141	149	-8	-5.4%	
1日あたり	火災件数	件	1.6	1.9	-0.3	-15.0%	
	焼損床面積	㎡	117.2	25.6	91.6	358.0%	
	損害額	千円	8,531.3	2,546	5,985	235.1%	
人口1万人あたりの火災件数		件	2.2	2.6	-0.4	-15.2%	

大阪市人口 令和2年10月1日現在推計 人口2,752,412人(大阪市計画調整局HPより)
 大阪市人口 令和3年10月1日現在推計 人口2,750,835人(大阪市計画調整局HPより)

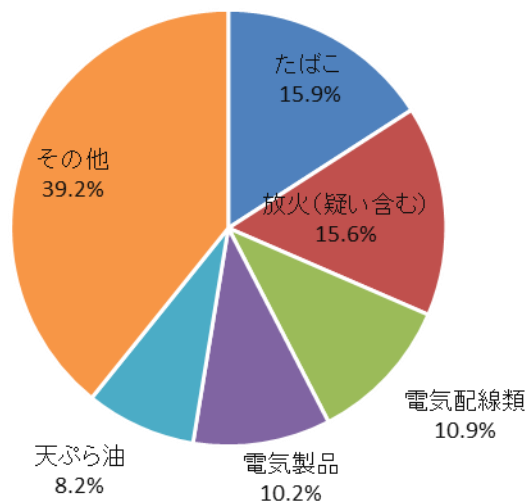
(2) 火災原因【図1・図2・表2参照】

- ・主な火災原因は、1位「たばこ」(95 件)、2位「放火(疑い含む)」(93 件)、3位「電気配線類」(65 件)の順でした。(※調査継続中のもの含む)
- ・1位「たばこ」、2位「放火(疑い含む)」、3位「電気配線類」の順位は昨年同様でした。
- ・4位の「電気製品」による火災は 61 件で、前年と比較すると 12 件増加しました。
- ・「たばこ」は 95 件で、前年(134 件)と比較すると 39 件減少しました。
- ・「放火(疑い含む)」は 93 件で、前年(115 件)と比較すると 22 件減少しました。

(図1) 過去10年間の火災件数・放火件数とその比率



(図2) 原因別火災概要(令和3年)



※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

(表2)原因別火災概況

原因別		令和3年(A)				令和2年(B)				比較(A-B)	
		件数		比率(%)		件数		比率(%)			
たばこ	寝たばこ	95	9	15.9%	1.5%	134	15	19.0%	2.1%	-39	-6
	その他		86		14.4%		119		16.9%		-33
放火 (疑い含む)	建物内	93	47	15.6%	7.9%	115	56	16.3%	8.0%	-22	-9
	建物外		46		7.7%		59		8.4%		-13
電気配線類		65		10.9%		75		10.7%		-10	
電気製品		61		10.2%		49		7.0%		12	
天ぷら油	ガス	49	43	8.2%	7.2%	58	47	8.2%	6.7%	-9	-4
	その他		6		1.0%		11		1.6%		-5
ガスこんろ		37		6.2%		58		8.2%		-21	
自動車等(放火除く)		16		2.7%		28		4.0%		-12	
ライター		16		2.7%		6		0.9%		10	
電気ストーブ		14		2.3%		16		2.3%		-2	
自然発火		10		1.7%		1		0.1%		9	
ローソク		9		1.5%		12		1.7%		-3	
ストーブ(電気以外)		7		1.2%		6		0.9%		1	
溶接(断)機		6		1.0%		14		2.0%		-8	
電気こんろ		5		0.8%		8		1.1%		-3	
火遊び		5		0.8%		6		0.9%		-1	
コンデンサ		3		0.5%		6		0.9%		-3	
たき火		1		0.2%		1		0.1%		0	
その他		54		9.1%		63		8.9%		-9	
不明(調査中含む)		50		8.4%		48		6.8%		2	
合計		596		100.0%		704		100.0%		-108	

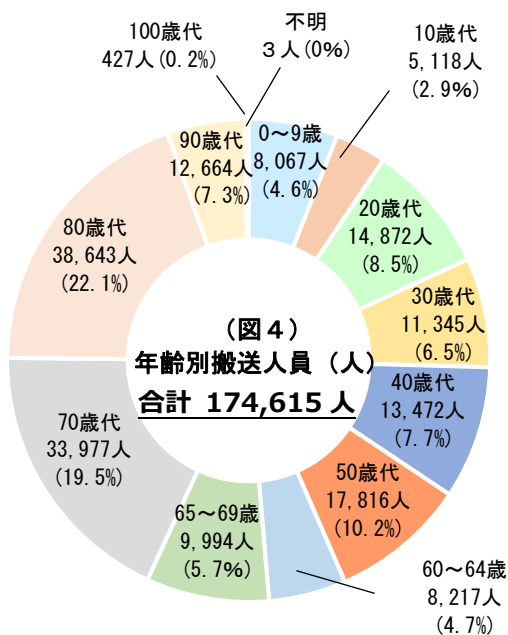
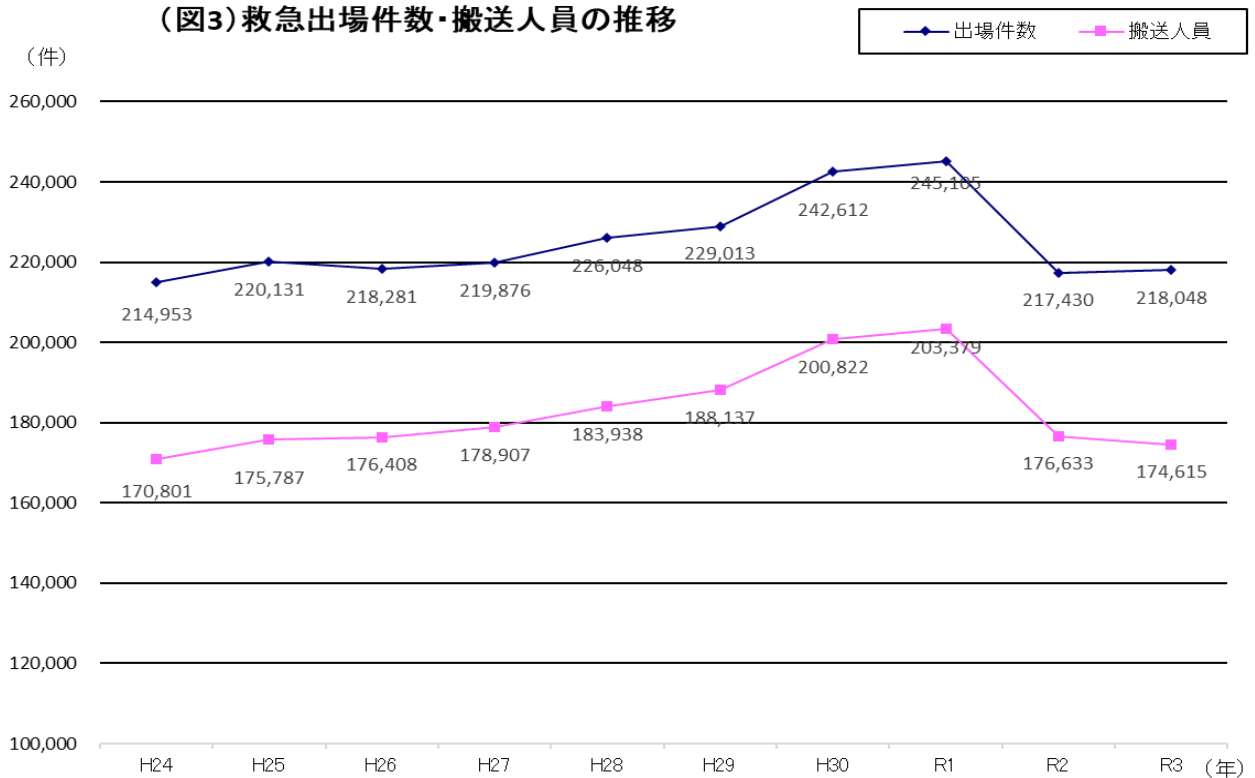
※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

2 救急活動概況

【図3・図4・表3・表4参照】

- ・令和3年中の救急出場件数は 218,048 件で、前年と比較すると 618 件の増加(0.3%)、搬送人員は 174,615 人で、2,018 人減少(-1.1%)しました。
- ・1日あたりの平均出場件数は約 597 件(前年比3件増)で、時間に換算すると約 2.4 分に1件の割合で救急車が出場し、年間を通じて大阪市民 15.8 人に1人が救急車を利用したことになります。
- ・事故種別の救急出場件数は1位が「急病」(149,992 件)で、前年と比べて 2,894 件増加(2.0%)し、次いで2位「一般負傷」(35,684 件)、3位「交通事故」(12,917 件)の順となっています。
- ・年齢区分別に見た搬送人員は、65 歳以上が 95,705 人(54.8%)で、全搬送の半数以上を占めています。

(図3) 救急出場件数・搬送人員の推移



※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

(表3) 救急活動概況

		令和3年 (A)	令和2年 (A)	増減 (A-B)	増減率 (%)
救急出場件数(件)		218,048	217,430	618	0.3%
搬送人員(人)		174,615	176,633	-2,018	-1.1%
1 日 あ た り	出場件数(件)	597.4	594.1	3	0.6%
	搬送人員(人)	478.4	482.6	-4	-0.9%

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

(表4) 事故種別救急出場件数

	令和3年 A(件)	令和2年 B(件)	増減 A-B(件)	増減率 (%)
急病	149,992	147,098	2,894	2.0%
一般負傷	35,684	37,390	-1,706	-4.6%
交通事故	12,917	13,047	-130	-1.0%
加害	1,968	2,224	-256	-11.5%
自損	2,263	2,227	36	1.6%
労働災害	1,414	1,347	67	5.0%
運動競技	630	580	50	8.6%
火災	708	811	-103	-12.7%
水難	84	95	-11	-11.6%
自然災害	14	12	2	16.7%
その他	12,374	12,599	-225	-1.8%
計	218,048	217,430	618	0.3%

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

3 救助活動概況

【表5参照】

- ・救助活動(火災を除く建物事故・交通事故・水難事故・エレベーター事故時の救出活動等)は、3,740件で、前年と比較すると201件増加(5.7%)しました。
- ・過去5年間では、平成29年中3,065件、平成30年中3,525件、令和元年3,470件、令和2年3,539件、令和3年3,740件となっています。
- ・令和3年中、最も増加したのは建物事故(前年比95件増)で、特に高齢者の急病の場合などで室内に閉じ込められている状況での救助要請が増加しています。

(表5)救助活動概況

		令和3年 A(件)	令和2年 B(件)	増減 A-B(件)	増減率 (%)
救助 活動	建物事故	2,694	2,599	95	3.7%
	交通事故	154	170	-16	-9.4%
	水難事故	101	111	-10	-9.0%
	エレベーター事故	26	29	-3	-10.3%
	機械事故	11	15	-4	-26.7%
	酸欠・ガス事故	42	21	21	100.0%
	風水害	1	0	1	—
	その他	711	594	117	19.7%
	合計	3,740	3,539	201	5.7%

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。

4 火災・救急・救助以外の活動概況

【表6参照】

- ・火災・救急・救助以外の活動は、7,839 件で、前年と比較すると 820 件増加(11.7%)しました。
- ・危害排除の中では、交通事故でのガソリン漏れなどの「危険物」が、717 件と最も多くなっています。

(表6) 火災・救急・救助以外の活動概況

			令和3年 A (件)	令和2年 B (件)	増減 A-B (件)	増減率 (%)	
火災・ 救急・ 救助以外 の消防活 動	その 他の消 防活 動	危 害 排 除	危険物	717	649	68	10.5%
			集災・特災	0	0	0	0.0%
			ガス・酸欠事故	103	95	8	8.4%
			浸水・漏水	52	55	-3	-5.5%
			倒壊・破壊	301	232	69	29.7%
			異臭	27	40	-13	-32.5%
			電気	10	7	3	42.9%
			毒劇物	0	1	-1	-100.0%
			その他の事故	136	112	24	21.4%
		水防活動等	25	0	25	100.0%	
	その他	1,230	1,223	7	0.6%		
	小計	2,601	2,414	187	7.7%		
	誤報	5,207	4,542	665	14.6%		
	虚報	31	63	-32	-50.8%		
合計	7,839	7,019	820	11.7%			

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入しています。